



チリ33人全員生還

リーダー、最後に地上へ



チリ北部サンホセ鉱山で13日、最後に救出されたルイス・ウルスアさん(54)が地上に生還し、全作業員の救出が終わった。

チリのマニャリク保健相は13日夕方、救出された作業員が順次運

【コピアポ(チリ北部)＝堀内隆】チリの鉱山落盤事故は13日午後9時55分(日本時間14日午前9時55分)、地下に閉じこめられた作業員33人のうち最後まで残ったリーダー格のルイス・ウルスアさん(54)が地上に生還し、全作業員の救出が終わった。

チリのマニャリク保健相は13日夕方、救出された作業員が順次運

ばれてくるコピアポ市内の病院で記者会見した。作業員の健康状態は「申し分のないという以上の状態だ」と述べたが、虫歯の治療を必要とする作業員が何人かいる。また肺炎の症状がある作業員もあり、しばらく入院させるといふ。健康状態がよい人は明日午後にも退院して帰宅できる見込みだ。